Nagasaki Higashi
2016 Global Report
International Department

GSI　第20号

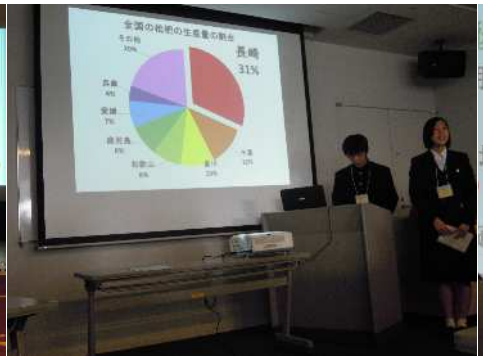
February 10, 2017

高校生国際シンポジウムに出場しました！

２月３日（金）～４日（土）「第２回高校生国際シンポジウム」が鹿児島市で開催されました。本校からは１２月の中間発表会（１年生）で優秀賞を獲得した６つの班の代表１２名が、プレゼンテーション部門に出場しました。全国規模の大会に出場した経験がなく不安になりながら準備を進めてきましたが、本番では、全員が研究の成果とプレゼンテーションスキルを発揮してくれました。**審査を担当された東京大学や九州大学の先生方等からもプレゼンテーションスキルや研究の着眼点をほめていただきました**。発表後のレセプションでは他校の生徒と交流したり、審査を担当された先生方と建設的な意見交換を行いました。今回は残念ながら入賞することはできませんでしたが、全員が全国のレベルを肌で感じ、とても良い刺激を受けたようです。

出　場　者		研究テーマ
５組１班	森内ひより、渕詠実	（英語）これから長崎はどのように多文化を受け入れていけばよいか
２組６班	針尾拓弥、山脇翔	（英語）原爆展を海外へ
４組４班	鶴山真規、與那城玄尊	枇杷の種による肝機能改善
５組３班	若村菜月美、市原利通	みかんで蚊を撃退！
５組５班	林祐衣、塚原佳穂	ホテイアオイを用いた水質浄化
５組６班	園田準亜、松尾優也	諫早湾干拓事業のデメリットの改善

参加生徒の感想

直前まで
リハーサル！

- 東高は結構レベル高いかなーと自信を持って行ったけど、**今回来ていた人はみんなプレゼンテーションも、人間的にもすごいなと思える人ばかりでした**。たくさん刺激をうけました！
- 自分の発表をしたときに、予想外の質問がきて、**長崎人の視点からしか見ることができていないということに気づけた**。今後も一つの物事を多様な視点から見たい。
- いろいろな着眼点をもった人たちと交流ができました。**発表時にされた質問にきちんと答えることができなかったのが悔しい**です。ブリックホールで行われる発表会では答えられるようにします！
- シンポジウムの先生方だけでなく、多くのＳＧＨ校の方々と意見を交換できたことによって、自分の知識の幅を広げ、新たな視点から物事を見始めることができるようになった。**多くの人々と関わり、世界が変わった**。